

NPO法人 ベーシックライフインフォメーション協会 会報第7号



植樹祭模様

台北市立第一女子高級中学で桜の植樹祭挙行 協会贈呈の枝垂れ桜を「結いの桜」と命名

かねて当協会はお茶の水女子大学附属高等学校（お茶大附属）と台湾台北市立第一女子高級中学（北一女）の交流の橋渡しをしてきました。その成果の一つが昨年秋のお茶大附属の北一女訪問でした。（詳細は協会ホームページ参照）。

それを記念して北一女にしだれ桜を植えたいと希望が寄せられました。千葉県の植木生産業の某氏から苗木の無償贈与の意向及び有志の寄付があつて準備を進めこの日を迎えるました。

植樹祭は北一女の主催で四月十五日に行われ協会を代表して加藤美智子理事が出席して贈呈しました。この桜は日台交流の記念として「結いの桜」と命名されました。

当日は北一女・張碧娟校長、先生、生徒、通訳ボランティアの友愛グループ・張文芳代表、協会関係者が協力して九本を校庭に植えました。北一女から協会に感謝状が授与されました。

近い将来見事に開花して桜の園に成ることを願っています。

学校交流を記念し 台北駐日経済文化代表處を表敬訪問

当協会は台北市立第一女子高級中学（北一女）が来日するので台北駐日経済文化代表處に表敬訪問したいと要請しこれが実現した。

当日沈斯淳代表を訪問したのは北一女・張碧娟校長、お茶大附属・村田容常校長、協会理事長、北一女OBなど一行十二人で、交流実現の協力に御礼を申し上げた。

沈代表と共に北一女卒業の沈代表夫人もご同席されて一同親しく和やかなうちに懇談、今後交流がいつそう進むよう努めることを確認した。



沈代表ご夫妻を囲んで記念写真

